

科目名 (科目番号)	応用栄養学 I (092141)	教員名 増野 弥生	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		講義時間の前後		
授業概要	ヒトの一生における各々の段階(ライフステージ)における、身体状況や栄養状態に応じた栄養管理(栄養マネジメント)の考え方を学習する。すなわちライフステージごとの生理的特徴、栄養状態の変化、栄養アセスメント、栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケアのあり方を理解する。応用栄養学 I では、ライフステージのうち妊娠・分娩・授乳期における母性栄養、成長・発達過程にある新生児期・乳児期・幼児期・及び学童期の特徴と栄養管理について学習する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	栄養マネジメント	到達目標: 栄養アセスメントと栄養ケアプログラムの関連を理解する。 学習内容: 栄養マネジメントの意義、方法と流れについて学習する。				
	2	発育・発達・加齢変化 妊娠期－(1) 特性	到達目標: 女性の生理、妊娠と分娩、妊娠時の母胎の変化について理解する。 学習内容: 加齢にともなう形態や機能の変化とライフステージについて学習する。				
	3	妊娠期－(2) 栄養	到達目標: 妊娠期の栄養摂取基準について理解する。 学習内容: 胎児の成長と妊娠期の栄養上の特徴について学習する。				
	4	妊娠期－(3) 栄養管理	到達目標: 妊娠期の病態や疾病の改善のための栄養ケアについて理解する。 学習内容: 妊娠期の栄養アセスメントについて学習する。				
	5	授乳期－(1) 特性	到達目標: 授乳期の特性について理解する。 学習内容: 授乳期の特性について学習する。				
	6	授乳期－(2) 栄養	到達目標: 授乳期の栄養上の特徴や栄養ケアについて理解する。 学習内容: 授乳期の栄養上の特徴や栄養ケアについて学習する。				
	7	乳児期－(1) 特性	到達目標: 乳児期の成長や発達等の特徴を理解する。 学習内容: 乳児期の成長や発達等の特徴について学習する。				
	8	乳児期－(2) 栄養	到達目標: 乳児期の栄養摂取基準について理解する。 学習内容: 母乳、人工栄養などの乳児期の栄養補給や、離乳食について学習する。				
	9	乳児期－(3) 栄養管理	到達目標: 乳児期の疾病と栄養ケアについて理解する。 学習内容: 栄養アセスメントと評価法について学習する。				
	10	幼児期－(1) 特性	到達目標: 幼児期の身体的、精神的、社会的発達等の特性を理解する。 学習内容: 幼児期の身体的、精神的、社会的発達等の特性について学習する。				
	11	幼児期－(2) 栄養	到達目標: 小児の栄養摂取基準を保育所給食も含めて理解する。 学習内容: 幼児期の栄養上の特徴を食習慣、生活習慣について学習する。				
	12	幼児期－(3) 栄養管理	到達目標: 幼児期の栄養障害や疾病と栄養ケアについて理解する。 学習内容: 幼児期の栄養アセスメントとその評価法について学習する。				
	13	学童期－(1) 特性	到達目標: 学童期の身体的、精神的、社会的特性を理解する。 学習内容: 学童期の身体的、精神的、社会的特性について学習する。				
	14	学童期－(2) 栄養	到達目標: 食事摂取基準について学校給食も含めて理解する。 学習内容: 学童期の栄養上の特徴、生活習慣などについて学習する。				
	15	学童期－(3) 栄養管理	到達目標: 出生から学童期までをまとめて理解する。 学習内容: 学童期の栄養アセスメント、栄養障害と栄養ケアについて学習する。				
成績評価の方法・基準	提出物(30%)+期末試験(70%)						
教科書	応用栄養学－ライフステージから見た人間栄養学	森基子、玉川和子、澤純子他著			医歯薬出版		
参考図書	日本人の食事摂取基準(2015年版)	菱田明、佐々木敏編著			第一出版		
教員からのメッセージ	前回のライフステージをプリント学習などで各自まとめ学習をします。授業内で小レポートを行います。小レポートはコメントを付けて授業内で返却します。						